※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	わたしたちの歴史　日本から世界へ（山川出版社）						
副教材等	わたしたちの歴史　日本から世界へ　ノート（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代から現代における歴史の大きな流れを感じる。
・歴史的事象の相互の関連性を考える。
・歴史の背景を理解し、現在の日本や世界の問題について考える視点を持つ。

２　学習の到達目標

・歴史の諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・近現代から現代における歴史を理解し、国際化する社会に生きる個人としての知識と主体性を養う。
・現代の諸課題について、歴史的背景と結び付け、その側面を考慮に入れながら、考察することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。歴史的・地理的事象に関する地図・諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際化する社会に生きる個人として主体的に責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化	18 世紀の世界とアジア 産業革命 日本の開国	a：18 世紀の世界とアジア、産業革命、日本の開国について、特色を理解し、地図や写真などの各種資料を活用して、その特色と相違点を把握できる。 b：18 世紀の世界とアジア、産業革命、日本の開国について、風土・社会・政治・文化・宗教などの特徴を比較し、その共通点と相違点を示すことができる。 c：18 世紀の世界とアジア、産業革命、日本の開国について関心をもち、追究している。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題
		明治維新 富国強兵と文明開化 大日本帝国憲法の制定 日清戦争 日露戦争 韓国併合	a：近代国家の成立や立憲国家の成立と日清・日露戦争、韓国併合についての特色を理解し、地図や写真などの各種資料を活用して、その特色と相違点を把握できる。 b：近代国家の成立や立憲国家の成立と日清・日露戦争について、風土・社会・政治・文化・宗教などの特徴を比較し、その共通点と相違点を示すことができる。 c：近代国家の成立や立憲国家の成立と日清・日露戦争の形成・展開について関心をもち、追究している。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題

※令和４年度以降入学生用

2学期	国際秩序の変化や大衆化	第一次世界大戦 日本のアジア進出 第二次世界大戦 戦後国際秩序 日本国憲法	a: 第一次・二次世界大戦や戦後の各国の動きについての特色を理解し、地図や写真などの各種資料を活用して、その特色と相違点を把握できる。 b:第一次・二次世界大戦や戦後の風土・社会・政治・文化・宗教などの特徴について比較し、その共通点と相違点を示すことができる。 c: 第一次・二次世界大戦や戦後社会の形成・展開について関心をもち、追究している。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題
3学期	グローバル化	冷戦 高度経済成長 現代世界の諸課題	a:冷戦、高度経済成長、現代の諸課題についての特色を理解し、地図や写真などの各種資料を活用して、その特色と相違点を把握できる。 b：冷戦、高度経済成長、現代の諸課題の風土・社会・政治・文化・宗教などの特徴について比較し、その共通点と相違点を示すことができる。 c: 冷戦、高度経済成長、現代の諸課題の形成・展開について関心をもち、追究している。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度